



毎年開催しています「おひなさま」ですが、今年は御殿飾りに焦点を当てます。これまでも度々展示してきましたが、昨年多くの寄贈をいただいた新資料を加えて展示しますので、春の訪れとともに資料館に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

収蔵資料展 御殿飾りのおひなさま 2/9(金) ▶ 3/17(日)

当館が所蔵する大正4年から昭和35年までの御殿飾りを一堂に展示し、年代が明確な御殿飾りを軸として、形態や特徴がどのように変化しながら豪華にそして複雑になっていったのか、御殿飾りの変遷を中心に展示します。本紙では、展示資料を2回に分けて紹介します。今回は大正期から戦前の御殿飾りです。



大正期の御殿飾り



1. 大正4年



2. 大正14年



3. 大正末期

1は大正3年に開業したデパート三越で購入され、屋根のない「源氏枳飾り」と呼ばれます。2、3の屋根は檜皮葺きの屋根を茶で表現し、その後豪華となっていく屋根のシャチホコや唐破風の装飾はまだありません。



昭和期戦前の御殿飾り



4. 昭和9年



5. 昭和17年

戦前の御殿飾りは、大正期の御殿飾りと様相が異なります。屋根は次第に檜皮葺きから瓦葺きとなるだけでなく、シャチホコや唐破風が付けられる点が大きな特徴で、豪華になっていく様子がうかがえます。

※前号では開催期間が誤っておりました。正しくは2月9日から3月17日です。

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

休館日：月曜日（月曜日が祝日は翌日）・年末年始 開館時間：午前9時～午後5時（入館は4時30分）

お問い合わせ 群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98 電話 0270-63-0030 FAX0270-63-0087

E m a i l : siryokan@city.isesaki.lg.jp 入館無料